

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第2回ふじみ野市行政評価外部評価委員会			
開催日時	令和7年11月13日（木） 開会時刻 午前9時30分 閉会時刻 午前11時30分			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎3階 A301会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	木村 浩則	委員	尾澤 景子
	副委員長	原田 晴男	〃	小池 泰
	委員	新井 進	〃	山崎 崇史
	〃	新井 雄一郎	〃	横田 俊幸
〃	大平 聡男			
会議の議題	(1) 分野1・2の評価について (2) 第3回会議の評価対象分野について (3) その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	—			
傍聴人の数	1人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次 第 ・委員からの事前質問に対する回答票 ・施策評価シート及び事務事業評価シート、第3期総合戦略効果検証（第3回会議評価実施分） ・事前質問票記載要領 ・令和7年度第3回ふじみ野市行政評価外部評価委員会開催通知 			
事務局	総合政策部経営戦略室			
議事の確定	確定年月日	令和7年11月26日		
	記名押印 又は署名	役職名 委員長 木村 浩則 ㊟ ※自署の場合は、押印不要です。		

別紙

発言者	発言の要旨
	<p>－開会－ ー経営戦略室長あいさつー</p>
事務局	<p>皆様、本日はご多用のところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、令和7年度第2回ふじみ野市行政評価外部評価委員会を開催いたします。会議に入ります前に、本会議は、「ふじみ野市審議会等の会議の公開に関する規則」におきまして、公開の対象となっております。本日の会議におきましては、傍聴人が1人いらっしゃいます。 また、本日所用により、久保田委員が欠席されますので報告します。</p>
事務局	<p>ここからの進行につきましては、ふじみ野市行政評価外部評価委員会条例第5条第2項に基づき、木村委員長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
委員長	<p>それでは、ふじみ野市行政評価外部評価委員会条例の第5条第2項に基づいて、ここからは私の方で議事を進行させていただきます。</p>
委員長	<p>最初に、議題1「分野1・2の評価」として意見交換を行います。議事進行にあたりまして、事務局から本日の意見交換の流れについて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ー事務局より説明ー</p>
委員長	<p>それでは施策1「協働」についてご意見いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>この施策について、多くの事前質問をいただいておりますが、「協働」は非常に重要な分野ではあるものの、市として苦慮している状況があります。文化・スポーツの活動や子ども支援など特定分野では市民活動が盛り上がっているものもありますが、地域コミュニティについては、自治組織への加入率など課題が多いです。引き続き、注力したいと考えているところです。</p>

委員長	若い世代は固定された組織に入ることに抵抗があるように感じており、こういった中でどのように増やしていくかは難しい課題だと思います。
尾澤委員	先日、市のシティプロモーション特設サイトの説明会に参加しました。高齢の方でも簡単に掲示板を利用できると感じ、自治会の夏祭りの情報発信など、サポートがあれば自治組織ごとに簡単に利用できるのではないかと思います。また、中学生が地域ボランティアの派遣として自治組織の行事へ参加しましたが、非常に良い経験になったので、もっと地域の小中学生を積極的に参加させる取組があってもいいと思います。子どものために何かしてあげようという気持ちは生きがいにもつながると思いますし、地域の方たちが伝統を守って活動する姿を子どもたちが見て心に残すことは、将来地域に根付く種まきにもなるのではないのでしょうか。
事務局	尾澤委員から話がありましたが、現在、市の公式ホームページのほかに市民の方々が地域のイベントや求人情報など、自由に投稿できるサイトを来年3月の運用開始を目途に構築しているところです。近隣では川越市や三芳町がすでに運用しており、地域の魅力を発信しコミュニティの形成が図られているので、本市でも積極的に活用していきたいと考えています。
事務局	加入率の改善に繋がっている自治組織も一部あり、複数の自治組織合同の夏祭り等イベントを実施し、子どもが多く参加したところは加入率向上の傾向があったと担当課から報告がありました。
委員長	各学校に学校運営協議会があると思いますが、すべてに自治組織の方は入っているのでしょうか。
原田委員	学校から推薦依頼はきていると把握しています。協議会にはPTAの方や任意の団体などが網羅されて入っているように感じます。
委員長	そういった場面で、若い人と繋がる機会はあるのでしょうか。
原田委員	自治会のイベントで中学生が役員として入り、一緒に行動する機会が各地域で少しずつ増えています。全体に広げるのは難しい部分もありますが、学校も活動を理解し、地域貢献に学校そのものが入っていくべきと話されているところもあります。

委員長	<p>学校にはコミュニティスクールがあり地域が学校を支援するというのがありますが、学校が動いて地域が元気になるという方針もあるのでそこが接点になればいいなと思います。</p>
原田委員	<p>先日市の防災訓練がありましたが、東日本大震災の事例として、以前から継続して中学生と地域が連動し避難想定を行っていた地域では、子どもたちが全員助かったことがありました。これを踏まえて地域の小学生を、中学生が自分たちの住んでる地域まで誘導できる仕組みはないか提案していますがなかなか実現は難しく、国でなんらかのルールを示していただければ話が進むのではないかと思います。また、防災訓練について、毎年同じことをやるのではなく、新しいものを取り入れたほうが良いという意見もあります。ただ、大きな震災の事例が示しているのは、同じことを繰り返しているからこそ体が動いて命が助かったという事例が多いのです。いずれにしても防災訓練は「みんなで参加しようよ」という意識で増やしていくことが必要であり、どう増やしていくかは、やはりその地域の組織のあり方が問われているのだと思います。</p> <p>構成比率が減少していることについても、どうやって改善していくかを行政からも様々な事例を出してもらいながら進めているところです。しかし、新しい人が増え地域の歴史を知らない人が増えていく中で、構造的に自治組織の将来的なあり方をきちんと考えていかなければいけない状況です。単に何かをして構成比率を上げるだけでなく、大事な根幹の部分を増やしていく必要があると考えています。</p>
委員長	<p>次に施策2「人権尊重」についてご意見いかがでしょうか。</p>
新井(雄)委員	<p>学校でも外国籍の子どもが増えている印象があります。県内の他自治体では外国籍の方が増えたことによるトラブルなども聞きますが、市内では特に大きなトラブルなどはないのでしょうか。</p>
事務局	<p>大きなトラブルはないですが、本市のごみ分別は分類が細かいこともあり、その点を理解してもらえずごみの捨て方でトラブルが生じることはあります。対策として、ごみの分類アプリを7か国語に対応させ、解消を図っているところではあります。また、外国籍の子どもについては、学校に言語の支援員を派遣する制度はあるものの、言葉の問題が一番大きくなっているようです。</p>

新井(雄)委員	学校からの案内も多言語から選べるようになっていたり、各自で翻訳アプリを使ったりして対応しているようですが、うまく伝わらない部分もあり現場はいろいろと対応に苦慮していると感じています。
委員長	ふじみ野市国際交流センターでは、相談業務や学習会、子どもの交流などを行っており、富士見市と三芳町からも助成を受けていると聞きました。ふじみ野市の担当課はどこになるのでしょうか。
事務局	協働推進課が窓口になります。
委員長	センターの職員は熱心にやっていると感じましたが、市の関わりはどのようなもののでしょうか。
事務局	行政としては相談業務の委託や、曜日を設定して特定の業務を受けていただくなどしています。また、学校における支援の協力も仰いでいます。
委員長	外国籍の方が市民の方とコミュニケーションを図っていくためには、センターだけでは難しいと感じるため、共生のまちづくりの観点から、行政が時間をかけて取り組む必要があるように感じますが、いかがでしょうか。
事務局	担当課としても交流事業は非常に重要であると認識していますが、具体的な事業はできていない状況です。ご意見をいただけましたら担当課へ提案いたします。
委員長	外国籍市民が増加する中、既存の組織では手一杯に感じるため、ほかの組織が必要ではないでしょうか、
事務局	組織の検討も必要に応じて行っていかなくてはならないと認識しています。
新井(雄)委員	外国籍の方の割合が増えてきているので、何もしないでいると、些細なことから相互の不審感が生まれ、排外的になりかねないと思います。みんなでルールを守っていただいたうえで、共生できる社会を作るための雰囲気づくりに行政として取り組んでいただきたいです。

小池委員	審議会等女性委員の割合について、目標値を下回っているが、各審議会において「女性〇名以上」など定めていてもいいのではないかと感じます。
尾澤委員	本委員会も女性が1名になっています。小池委員が発言された仕組みもいいかと思いますが、審議会の種類によっては、男性や女性の得意分野があると思うので、そこは配慮すべきかと思います。一方で、こういった指標を行政が定めているものの、審議会等に参加していない女性にとって、審議会に女性委員の割合が少ないことについてどう感じているかヒアリングをしてもいいのではないかと感じます。初の女性首相が誕生し、女性への注目が高まっているときに、市内の女性がどう感じているのか知りたいと思います。
事務局	今後アンケートを取れる機会があれば検討したいと思います。
委員長	職員における管理職への登用状況はどうでしょうか。
事務局	女性管理職比率は目標の30%を超えています。部長や課長といった役職になると割合が減り、部長職は1名です。
委員長	上級管理職比率の目標値を定めるなど、指標を細かくする予定はありますか。
事務局	人事担当と相談します。 なお、審議会の委員については、特定の団体から選出いただくことが多くあります。以前から依頼文への記載はしていましたが、今年度から団体への推薦依頼の際に女性の割合を増やしたい旨、積極的に働きかけることを実施し、改善が図られるか見ております。
尾澤委員	子育て等で限られた時間しか動けない女性の方も多いたと思います。審議会の開催時間も参加が難しい時間に設定されていることもあるので、オンラインでの出席を可能にすればもう少し参加しやすいのではないかと感じます。
委員長	現状、オンラインで実施している審議会はあるのでしょうか。
事務局	コロナ禍ではオンラインや書面開催も行っていましたが、今は市民の代表の方など様々な構成員がいる審議会は、個人のオンライン環

	境の問題もあり、ほとんど実地で開催しています。医療や介護関係など専門職の会議では、オンラインで実施しているものもあります。
新井(雄)委員	審議会において公募市民を募集していると思いますが、そこで女性に積極的に応募してもらいたいことを伝えるような方法はないでしょうか。
事務局	検討してまいります。
委員長	女性の意見をどう反映させるかという趣旨も目標として書いていただくと良いかと思います。
事務局	委員の皆様の所属されている企業では、女性の登用についてどのような取組をされているか差し支えない範囲でご教示いただきたいです。 (各委員から情報共有)
委員長	様々な取組をされている中で、管理職として女性が手を挙げづらい背景もあることが推測されますので、働き方改革とも関連する話だと感じました。
委員長	次に施策3「市民総合相談」についてご意見いかがでしょうか。
委員長	市民相談では幅広い分野に対応していると思いますが、どのような分野の対応に苦慮しているのでしょうか。
事務局	単独の問題で済むケースが少なく、例えば、DVだけでなく貧困や子どもの養育など複数の問題が絡んでいるケースが増えています。この場合、最初の窓口は市民総合相談室となりますが、その後は市の専門職チームで時間をかけて対応する場面が生じています。
委員長	行政の組織以外に、相談者をつなぐNPOとの連携などはあるのでしょうか。
事務局	問題が複雑に絡んでいる場合、民間に依頼するのも難しい部分が多いので、現状は保健センターなどが関わっています。外国籍の方の

	<p>相談も多いため、多言語のタブレットが必須になっています。また、DVなど緊急避難の必要がある場合には、ホテルなどを避難先として確保することになりますが、このような場面では、そういった支援を持っているNPO団体と連携しており、緊急の支援として宿泊先を提供するなど、部分的にはNPO団体と協力しながらやっています。</p>
委員長	<p>複雑な相談が増加する中、行政だけで対応するのは難しいと思いますので、こういった分野に特化したNPOを育てていくことも必要かと感じました。</p>
委員長	<p>次に施策4「市民窓口サービス」についてご意見いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>ふじみ野市の窓口を利用して混雑で困った経験はないのですが、待ち時間に関する苦情などはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>3月、4月の転入・転出の時期には、混雑する時間が多くなります。これを解消するため、4月は休日開庁の日を増やして対応しているところです。なお、事前質問でいただいた待ち時間の測定について、「把握していない」と回答していますが、これは現状のシステムに機能が備わっていないためできていない状況です。ただし、窓口関連のアンケート結果からの分析を検討したいと担当課から回答を受けているところです。</p>
委員長	<p>他自治体へ3月に手続きに行ったところ、すべての手続きを終えるのに朝から夕方までかかって大変だったと聞いたので、ふじみ野市はまだ短いほうなのかと思いました。窓口で申請すると1つに結構な時間がかかりますが、同様の手続きがコンビニ交付だとすぐ済むものもあります。市役所にコンビニの端末を設置するのはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>窓口サービスについては全国的に改善の動きが進んでいるところです。本市では昨年、窓口体験調査を行い、「親族がなくなり、犬を飼っていて…」などモデルケースを作って、市長自らが各窓口を回って所要時間の調査を行いました。その結果、動線や申請の煩雑さなどの課題が見つかったことから、動線の見直しや申請の簡素化に取り組む予定です。お亡くなりになったときの手続きの場合、死亡</p>

	<p>届や介護保険、国民保険など記入する書類がたくさんあるのですが、1回書くことで他の必要なものが出てくる仕組みをDXを通じてやろうとしています。さらに、書かない窓口としてコンシェルジュを置いて受付を実施していますが、これは少し過渡期とも感じています。デジタルに長けている方は、コンビニでマイナンバーカードを使って容易に手続きができますし、高齢者もスマホやマイナンバーカードを使う方が増えてきているので、コンシェルジュではなくマイナンバーカードを使用し自分で操作することで手続きができたり、事前に自宅で申請することで窓口に行けばもう手続きが終わって書類が出てきたりするといったシステムを構築できたら良いと考えています。</p>
委員長	<p>コンビニにある端末を市役所に設置したらいいのではないのでしょうか。使い方がわからない方には手伝ってあげる環境があればいいと思います。</p>
事務局	<p>他自治体ではコンビニ交付を利用した際には発行手数料が安くなるようにしているところもあるので、市役所のロビーに端末を設置し、窓口で発行するよりも手数料を低く設定するのも良いかもしれません。現在、大井総合支所には同様の端末を設置しており、申請者がマイナンバーカードをかざすと事務室内の端末から印刷され、それを本人確認の上、職員が交付しています。しかし、現在はマイナンバーカードの更新が多く、本庁では対応ができていません。</p>
新井(雄)委員	<p>RPAの導入について、窓口業務委託受託者からの提案により実施したとありますが、業務委託は一定期間で更新されるので、受託者は積極的に新たな提案を出して実行することで次の受託に繋げようとするのだと思います。このように、業務委託をすることは、その専門性を活かした新たな提案を受けられる好事例という認識で良いでしょうか。業務が改善するのであれば、外部委託は良い面があると思います。</p>
事務局	<p>窓口業務委託はプロポーザルを実施し選定しており、そこで提案があったものになります。RPAは定期的な流れができている業務については、シナリオを組むことで効率的に業務ができるメリットがあります。</p>
小池委員	<p>問合せ業務については、今後AIに代わっていくこともあるかと思</p>

	<p>いますが、この部分についてすでに予算化などは検討されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>AIについては研究中ですが、なかなか難しい印象です。</p>
小池委員	<p>研究所でもAIの研究をしていますが、新しいものがどんどん出てきています。時代の流れは速く、AIが一般的になるのはすぐだと思いますので、予算化もいずれ考えていただいたほうが良いかと思えます。</p>
事務局	<p>まずは職員がAIに慣れることが必要だと思います。職員のパソコンもAIに対応できるよう、OSの切り替えを検討しています。</p>
委員長	<p>次に施策5「生きがい」についてご意見いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>大学でも公開講座を社会人向けに開催していますが、若い人は少なく、参加者の多くは高齢の方です。先日も講演会に90名ほど集まっていたいただき、高齢の方の学習意欲が非常に高いと感じました。介護予防センターの講座でも抽選になることがあると聞いていますが、この学習意欲に市がどれだけ応えられているのか気になるところです。また、これに関しては、大学と連携して補完することも可能性としてあると感じています。</p>
事務局	<p>事前質問でもいただいている中で、市民大学ふじみ野の受講者数が増えています。人気のテーマは健康や歴史、美術、脳活講座であり、年齢層が高めの方が受講のメインを占めているとのこと。</p>
尾澤委員	<p>先日、全国公民館セミナーに参加しましたが、市民大学や指定管理者が実施する事業に参加した人が、学んで終わりにになっているのではないかという意見が出ていました。「生きがい」ということを考えると、学んだ後にその方々がどうされるのかを考えていくべきかと思えます。現状、学んだことを別の場所で活用していくような仕組みはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>生きがい学習ボランティアが関連しますが、活動実績が少なくなっています。理由としては、講師としてマッチングするのが難しいと担当課は感じているとのこと。市としては、庁内各課へ情報共有を行い、連携しながらボランティアとして活用できる場を作って</p>

	いきたいと考えています。
尾澤委員	連携するためのコーディネーターの育成は考えていますか。
事務局	コーディネートは市がやるものと担当課は考えていますが、今のご意見を受け、市民コーディネーターの育成も視点としてあったほうが良いのではないかと思います。
委員長	社会教育士について、以前は、社会教育課の職員に結び付く資格だったかと思いますが、制度が変わり社会教育課の職員でなくても取得できるようになりました。これを活用し、資格を取ってもらいそれをもとに地域活動に参加してもらうことができるといいのかなと思います。今は開校している大学が少ないので、私の大学でも出来たらいいなと感じています。現在、大学では、日本語教師育成のための講座を開催していますが、こちらにも興味を持たれるのは社会人の方が多くボランティアとしても活動できるので、NPOなどと連携できるのではないかと考えています。
委員長	次に施策6「文化」についてご意見いかがでしょうか。
尾澤委員	ステラ・ウエストの窓口職員が頻繁に変わる印象です。指定管理者がどのような仕組みで動いているのかわかりませんが、市は施設の状態をどのくらい把握しているのでしょうか。
事務局	指定管理者導入施設については、施設の安全管理や利用状況、事業実施状況、人員配置の関係等について毎月モニタリングを実施していますので、担当課は把握していると考えています。
委員長	指定管理者制度は一定期間で指定期間が終わり、また新たに選定をするので、企業側は該当施設の職員を非正規雇用とすることが多く、不安定な環境で働いているのではないかと感じます。
尾澤委員	文化協会に所属していますが、市民の方に文化を広めることは時間がかかります。一方で、市の職員は異動が多いので、これまでのことが引き継がれていないことがあり、雰囲気も変わるのでいままでとは別のプログラムになってしまう場合もあります。担当課として人が変わっても同じ気持ちで事業が継続できるよう引き継ぎを行っていただきたいです。同じプログラムで継続することで、子どもた

	<p>ちの情操教育にも繋がると思うため、文化の流れをふじみ野市の文化として継続して醸成していきたいです。</p>
事務局	<p>人事異動について、管理部門は変わりやすいですが、市民に直結する文化や生活支援、高齢者の窓口などは、スペシャリスト的な配置として長く在籍する人も増えてきています。人事担当とも調整していきます。</p>
尾澤委員	<p>文化作品の保護や管理にあたって、専門性のある職員の方の配置や、委託先を検討いただけるといいかなと思います。</p>
事務局	<p>教育委員会には学芸員が 10 人ほどいますが、いまは、資料館など歴史部門へ重点的に配置されています。</p>
委員長	<p>教育委員会と文化の関りはどうなっているのでしょうか。</p>
尾澤委員	<p>教育委員会や学校との連携はあまりできていませんが、行政に繋がりを作ってもらえたらありがたいと考えています。</p>
委員長	<p>文化やスポーツは社会教育の話でもあるのですが、市長部局にあるため教育委員会との関りが深くないように感じます。</p>
尾澤委員	<p>社会教育的な意識が薄く、ワークショップやコンサートなど単発で終わってしまう点が気になっています。</p>
委員長	<p>最後に施策 7 「スポーツ」についてご意見いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>スポーツ施設の利用率について、どのような把握の仕方でしょうか。</p>
事務局	<p>各施設に設定しているコマ数に対してどれだけ使われているかという利用率になります。</p>
委員長	<p>令和 6 年度の利用率が 56.7%となっており、半分くらいは利用されていなかったということですが、やはり施設や時間帯に偏りがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>テニスコートなどは予約が取れないといった意見も出るなど利用率</p>

	<p>が高いですが、野球場は平日の利用が少ない状況です。また、利用団体が限られている弓道場なども利用率が低い状況です。そのため、全体的な利用率とすると数字が低く出てしまい、高い割合にするのが難しい状況です。</p>
委員長	<p>集中する施設は予約枠が足りないものの一部施設の利用率が低いために全体が低く見えてしまうとすると、この指標の取り方では細かい部分が見えてこないと感じます。</p>
事務局	<p>施設ごとのコストや利用率を細かく載せている個別の計画もあり、担当課では把握しています。施策評価では枠が限られていることもあり細かく書けていない状況ですので、説明欄や資料で見ただけのようなかたちにする必要はあると思います。</p>
委員長	<p>この書き方だと、スポーツ施設が5割しか使われていないように誤解されてしまうと思います。</p>
尾澤委員	<p>利用団体が限られるような施設の利用率を上げるための取組などは行っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>利用率向上のための取組は行っており、例えば小学生が使えるイベントを開いたり、体験教室を行ったりしています。また、弓道場はアーチェリーでも使えるようにしています。本市にはパラリンピックに出場したアーチェリーの選手がいらっしゃるの、その方にご協力いただき教室を開いたり、競技人口やスポーツに親しんでもらう人を増やしたりすることを目的としたイベントの開催もしていますが、すぐに利用率が上がる状況にはなっていません。</p>
新井(雄)委員	<p>気軽にスポーツを楽しむ環境づくりという観点で言うと、公園で球技ができることは小さい子どもにとって重要だと思います。福岡中央公園でも球技可能な指定エリアができたかと思いますが、その中でルールを守ってやっている人がいる一方で、指定外の場所でボール遊びをしている人たちもいます。私も子どもと一緒にエリア内でサッカーをしましたが、でこぼこしていてやりづらく感じました。また、スペースが狭いので1組遊んでいると、他の人ができない印象です。球技可能なエリアを設けたことは良かったと思うのですが、監視する人も置けない状況で、ルールが守られていない現状を今後どのようにしていくのでしょうか。エリアを広げるのか、ルー</p>

	<p>ルの順守を促すのかなど、現状を振り返った上での評価や検討していることはありますか。</p>
事務局	<p>課題として捉えています。現在、ボール遊びが可能な公園は市内に2カ所あります。令和4年に「ふじみ野市こどもの未来を育む条例」を制定した際に、子どもの体力が落ちているという点から、子どもたちが外で元気に遊べて走り回れる環境を作りたいという意見がありました。そこで子育て支援課でワークショップを行い、協議したうえでこのエリアを設定しました。一方で、公園は高齢者を含め市民全体が利用する場なので、球技はどうかといった意見もあります。こういった中で試行錯誤しながら運用していますので、引き続き取り組んでいきたいと思えます。</p>
原田委員	<p>今年に入り、公園でコーチも含めてサッカーの練習をしている方たちがいました。遊びとは言えない状況だったので、基本的に野球やサッカーは禁止されている旨を伝え、危険性も訴えたのですが聞き入れてもらえず、仕方なく警察の方に来ていただいた事案がありました。その後担当部局とも話をしたのですが、子どもたちが簡単にボール遊びをする場所がなく、学校では別のルールで球技が行われています。そこで、子どもたちが公園でも遊べるような対応ができる制度を作っていくべきではないかという相談をしたところ、公園の管理者や公園愛護会の中で特定の日時をボール遊びに特化して開放するような取組は考えられるのではないかというアドバイスをもらいました。公園ごとにルールをきちんと整備し、開放時間帯は管理者にきて監視をしてもらうなどすれば、うまく運用できるのではないかと勉強をしているところです。</p>
尾澤委員	<p>小中学校のプールについて、民間の施設を利用することで子どもが喜んでいました。今後、学校のプールの運用はどうなっていくのでしょうか。</p>
事務局	<p>今後は、民間施設の利用を進めていく予定です。しかし、全部がそれでいいかという難しい部分もありますので、その点は研究している段階です。また、使用しなくなった学校のプールについて、校庭スペースとしての活用や学校から離れた場所にある施設については民間への売却も含めて検討しています。</p>
委員長	<p>民間施設の利用にあたっては費用負担も大きいかと思います。</p>

事務局	プールの利用料のほか、学校からプールへ移動する際のバスの費用負担がかなり大きい状況です。
原田委員	先日の市の総合防災防災訓練で、第2運動公園の体育館を使用しましたが、気温が低い日だったので体育館内がかなり寒く冷暖房の必要性を感じました。災害がいつ起こるかわからない中で、避難場所の指定にあたっては施設の環境も重要であると実感しました。
事務局	第2運動公園の体育館の工事完了は令和9年度末になるかと思いません。当該施設については指定避難所としているので、空調の整備も行ってまいります。
委員長	続きまして、議題2「第3回会議の評価対象分野について」事務局より説明をお願いします。
事務局	－配付資料に基づき事務局より説明－
委員長	何か質問等がございますでしょうか。 －意見なし－
委員長	ご質問等ないようでしたら、議題3「その他」について事務局より何かありますでしょうか。
事務局	事務局より、4点、事務連絡をさせていただきます。 ①報酬の支給について ②第3回会議の日程について ③第3回会議の出欠連絡について ④駐車券の処理について
委員長	何か質問等がございますでしょうか。 －意見なし－
委員長	それでは、本日の議題はすべて終了しましたので、議事の進行を事務局にお返ししたいと思います。
事務局	本日はお忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございました。それでは、令和7年度第2回ふじみ野市行政評価外部評価委員会を終了します。

